



情報収集をしよう

ONLINE

■ 就活サイトへの登録・活用

日本の就職活動では、就活サイトへの登録は必要不可欠です。各企業の採用情報はもちろん、エントリーやインターンシップ・説明会への申込みなどを就活サイトを通して行う企業も多くあります。留学生専用の就活サイトもあるので、登録をしておきましょう。

● 就職情報サイトの紹介

- * 「マイナビ2022」 : <https://job.mynavi.jp/2022/>
- * 「リクナビ2022」 : <https://job.rikunabi.com/2022/>
- * 「キャリアタス就活2022」 : <https://job.career-tasu.jp/2022/top/>



<外国人留学生向け>

- * 「マイナビ国際派就活」 : <https://global.mynavi.jp/>
- * 「リュウカツ」 : <https://ryugakusei.com/>
- * 「GlobalLeader」 : <https://www.globalleadernavi.com/>



■ 企業ホームページ

興味のある企業のホームページは必ず確認しましょう。企業のホームページには、会社概要・事業内容・採用情報の他、代表挨拶や企業理念、スローガン等が掲載されています。企業の志や、社風を知ることができる為、面接対策としても有効です。

OFFLINE

■ 学校の就職課（キャリアセンター）の利用

学校の就職課は積極的に活用しましょう！卒業生の就職状況や、留学生積極採用企業の情報など、細かい情報を入手することができます。また、履歴書の添削などの相談や、ガイダンス等、様々なサービスをしてくれます。自分の学校の就職課では、自分の専門に合った求人があることが多いので、足を運んでみましょう。



■ 企業説明会

① 合同企業説明会

たくさんの企業が集まって合同で行う説明会の事をいいます。全国各地で開催され、会場に設置された各企業のブースにて、集まった学生に向けて、会社概要や事業内容、先輩社員の話などを紹介する会社説明会が行われます。事前に参加企業を確認し、当日は、時間を有効に使いましょう。留学生限定の合同説明会も多くありますので、積極的に参加しましょう。

② 会社説明会

企業が本社や別会場にて単独で開く説明会のことをいいます。企業の先輩社員から、事業内容や仕事のやりがいなどを聞くことができます。採用方法の他、会社の雰囲気や印象などを知ることができるので、入社後の自分をイメージしてみましょう。単独で行われる会社説明会は、事前予約制の場合がほとんどです。就活サイトや企業のホームページをしっかりとチェックして、早めに予約をしましょう。万が一、希望企業の説明会が満員で予約ができない場合でも、諦めずに直接電話で問い合わせしてみましょう。

■ OBOG訪問

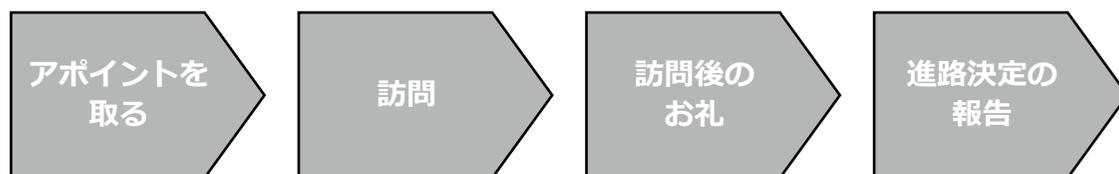
入社してから「自分の想像していた仕事ではなかった」などと後悔することのないよう、学校の卒業生や知り合いから紹介を受けた人を訪ねて、希望企業で働いている先輩の話を直接聞きましょう。先輩の実際の業務や一日の流れを聞くことで、会社説明会や企業ホームページからの情報よりも、より具体的なイメージをつかむことができます。また、自己PRや志望動機を先輩に聞いてもらい、アドバイスをもらうのもよいでしょう。

POINT OBOG探しのポイント

留学生のネットワークでは、なかなかOBOGが見つからないことも。そんな時は下記の方法も試してみましょう。

- ① 留学生で見つからなければ日本人の先輩を紹介してもらう
- ② 希望企業でOBOGが見つからない場合は同業・競合の企業で探す
- ③ 他大学出身のOBOGでもよいので探す

● OBOG訪問の流れ



1 アポイントをとる

OBOG訪問の第一歩は、話をしてくれる先輩にアポイントをとることです。

電話でアポイントをとる時は、相手が多忙な社会人であることを理解し、電話をかけた際は、「今、お時間よろしいでしょうか？」と相手の状況を必ず伺うようにしましょう。

▶ 電話のかけ方・マナーはp.26へ

2 訪問当日

OBOGの中には、業務時間中や休み時間を割いて会ってくれる人もいます。学生のように自由に時間を使えるわけではないので、よく自覚して礼儀正しくしましょう。

POINT 訪問当日のポイント

- * スーツなどの印象のいい服装で向かう
- * あいさつ、言葉遣いに気を付ける
- * 訪問する会社についてホームページなどで勉強しておく
- * 相手の目を見て、メモを取りながら話を聞く
- * あらかじめ質問を用意しておく

3 訪問後のお礼

忙しい時間を割いて話を聞かせてくれた先輩に対して、感謝の気持ちを込めた丁寧なお礼状を出すことを忘れてはなりません。感謝の気持ちに加え、回答してくれたことに対する感想なども添えておきましょう。

決まった書式や形式はありませんが、メールか手紙で送るのが一般的です。訪問翌日までには必ず出すようにしましょう。

<お礼状の一例>

株式会社〇〇
 ××部 △△様
 拝啓 先日はお忙しい中、お時間を頂き誠にありがとうございました。貴重なお話やアドバイスなど、大変参考になりました。
 学校ではなかなか得ることのできない現場の情報も伺うことができ、本当に感謝しております。
 就職先が決まりましたら、改めてご報告させていただきます。
 まずは簡略ながら書中をもってお礼申し上げます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。
 敬具
 〇〇年〇月〇日
 △△大学 ××学部 氏名

4 進路決定の報告

就職活動を終えて進路が決定したら、就職先が訪問した会社や同業ではなくても、お世話になった先輩に必ず報告をしましょう。

■ インターンシップ

インターンシップとは、学生が希望企業や団体などで実際に働いたり、訪問する「職業体験」のことです。最近では、就労体験だけでなく、企業が準備した体験型プログラムに参加したり、企画立案などのテーマについてグループごとに議論・発表をするグループワーク型のインターンシップも増えています。学校の長期休みを利用して積極的に参加しましょう。

● インターンシップの種類

1 1日体験

1日だけのインターンシップは、会社の説明会として実施することが多く、簡単なグループワークや社内見学、社員との座談会を行うこともあります。

2 短期

1週間～1か月程度のインターンシップは、最も一般的とされており、グループワークを行ったり、実際の職場を体験したりと1日体験型のインターンシップより実践的な経験ができます。企業によっては、インターンシップに参加することで選考過程の一部が免除になったりすることがある為、希望企業のインターンシップには参加しておくチャンスが広がるでしょう。

3 長期

1か月以上行うインターンシップは、多くの場合給与が支払われ、実際に業務を行いながら経験を積み重ね、最終的には企業の即戦力としての能力を得ることが期待できます。長期インターンシップの成果によっては、就職活動で有利になったり、直接内定をもらえたりする可能性もあります。

● インターンシップの目的

インターンシップを就職活動に活かすには、次のことを意識してみましょう。

1 業界研究

インターンシップ先の企業が属する業界の特徴は何か考えてみましょう。訪問した企業だけでなく、その企業と同じ業界で働くイメージが持てます。

2 職種研究

営業職、企画職、技術職、研究職、経理など会社には様々な役割があります。社員の話や、インターンシップで経験した仕事を通じて、それぞれの仕事の内容を理解し、自分にどのポジションが向いているのか考えてみましょう。

3 日本企業で働くことへの理解

日本の会社で働くというのはどういうことでしょうか。その環境は母国とどのように違いますか。自分が直接その環境に入ってみて、自分の目で見てみることで、「日本社会で働く」とはどのようなことなのか、母国との違いや、アルバイトとは違う責任なども見えてきます。



POINT アルバイトとの違い

インターンシップとアルバイトでは、目的に大きな違いがあります。アルバイトの目的は、「お金を稼ぐこと」。インターンシップの目的は、「自分の適性を把握すること、社会人として働くことを経験すること（スキルアップ）」です。

アルバイトでは任せてもらえない仕事を体験・見学することができたり、企業全体を理解する機会になります。その分、責任をもって最後までしっかりとやり抜きましょう。

● インターンシップの準備

インターンシップに参加する際は、保険に加入しましょう。

インターンシップ中に万が一、誰かに怪我をさせてしまった場合や、会社のモノなどを壊してしまったりした時に備えての保険です。保険に加入していないと、その損害を本人が賠償しなければなりません。

詳しくは、学校の就職課（キャリアセンター）で先生に相談してください。

インターンシップに参加するときは、「社会人」として気を引き締め、ルールやマナーを守りましょう。

⚠ 遅刻や無断欠席は厳禁です。

⚠ 服装・髪型などの身だしなみにも注意を払いましょう。